

## 結 果 の 概 要

### 1 結果の要約

#### (1) 出生数は減少

出生数は 4,161 人で、前年の 4,415 人から 254 人減少し、出生率（人口千対）は 6.4 で、前年の 6.7 を下回った（全国第 16 位）。

合計特殊出生率は 1.57 で、前年の 1.62 を下回った（全国第 4 位）。第 1 位は沖縄県（1.70）、第 2 位は宮崎県（1.63）、第 3 位は鳥取県（1.60）、第 4 位は島根県（1.57）、長崎県（1.57）である。

#### (2) 死亡数は増加

死亡数は 10,434 人で、前年の 9,851 人から 583 人増加した。死亡率（人口千対）は 16.1 で、前年の 15.0 から 1.1 増加した（全国第 6 位）。

死因別にみると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ 24.2%、13.9%、12.9%である。

#### (3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△6,273 人で、前年の△5,436 人から減少数が 837 人増加し、自然増減率（人口千対）は△9.7 で、前年の△8.3 より減少率が 1.4 増加した（全国第 39 位）。本県では平成 4 年以降、死亡数が出生数を上回る自然減が続いている。

#### (4) 死産数は減少

死産数は 71 胎で前年の 80 胎より 9 胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は 16.8 で、前年の 17.8 を下回った。死産率のうち、自然死産率は 10.6（前年は 9.6）、人工死産率は 6.1（前年は 8.2）となっている。

#### (5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、2,167 組で、前年の 2,337 組から 170 組減少し、婚姻率（人口千対）は 3.3 で、前年の 3.6 を下回った（全国第 40 位）。

平均初婚年齢は夫 30.3 歳、妻 29.1 歳で、夫は前年より 0.1 歳低下、妻は前年より 0.1 歳上昇した（全国平均は夫 31.1 歳、妻 29.7 歳で、夫

は前年より 0.1 歳上昇、妻は前年より 0.2 歳上昇した)。

(6) 離婚件数は減少

離婚件数は 813 組で、前年の 863 組から 50 組減少し、離婚率（人口千対）は 1.25 で前年の 1.32 を下回った（全国第 41 位）。

表 1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	令和4年	令和3年	対前年増減	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
出生	4,161	4,415	△ 254	6.4	6.7	2時間6分18秒	1時間59分2秒
死亡	10,434	9,851	583	16.1	15.0	50分22秒	53分21秒
乳児死亡	4	4	0	1.0	0.9	91日6時間	91日6時間
新生児死亡	1	1	0	0.2	0.2	365日	365日
自然増減	△ 6,273	△ 5,436	△ 837	△ 9.7	△ 8.3	...	...
死産	71	80	△ 9	16.8	17.8	5日3時間22分49秒	4日13時間30分
自然死産	45	43	2	10.6	9.6	8日2時間40分	8日11時間43分15秒
人工死産	26	37	△ 11	6.1	8.2	14日55分23秒	9日20時間45分24秒
周産期死亡	15	13	2	3.6	2.9	24日8時間	28日1時間50分46秒
妊娠22週以後の死産	14	12	2	3.4	2.7	26日1時間42分51秒	30日10時間
早期新生児死亡	1	1	0	0.2	0.2	365日	365日
婚姻	2,167	2,337	△ 170	3.3	3.6	4時間2分32秒	3時間44分54秒
離婚	813	863	△ 50	1.25	1.32	10時間46分29秒	10時間9分2秒

	令和4年	令和3年
合計特殊出生率*	1.57	1.62

\* 分母に用いた人口  
5歳階級別総人口(総務省推計)

注: 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。

死産率は出産(出生+死産)千対。周産期死亡率及び妊娠満 22 週以後の死産率は出産(出生+妊娠満 22 週以後の死産)千対である。